

2016年02月09日

住友林業株式会社

住友林業ホームテック株式会社

住友林業ホームテック
経済産業省「平成27年度 先進的なリフォーム事業者表彰」に選定
～ 旧家や歴史的建造物を再生し次世代へ継承する旧家リフォームの取り組み ～

住友林業株式会社(社長:市川 晃 本社:東京都千代田区 以下、住友林業)のリフォーム専門会社である住友林業ホームテック株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区 住友林業(株)100%出資、以下、住友林業ホームテック)は、経済産業省が主催する「平成27年度 先進的なリフォーム事業者表彰」に選定されましたのでお知らせいたします。

本表彰は、経済産業省が、独自のビジネスモデルでリフォーム市場の拡大に貢献するリフォーム事業者を表彰するもので、昨年度から開始され、今年が2年目となります。今回初めて、住友林業ホームテックの旧家や歴史的建造物を再生する「旧家を次世代に継承するための様々な取り組み」が評価され選定されました。

住友林業ホームテックは、今後も日本の木の文化とも言える「旧家」を、安心・安全・快適な住まいとして、そして次なる100年に繋ぐことのできる住まいとして生まれ変わらせるとともに、快適な暮らしを支える維持管理のサポート体制を充実させてまいります。

<住友林業ホームテックの旧家リフォーム>

住友林業ホームテックでは、1950年(昭和25年)の建築基準法の施行以前に伝統構法などで建築された木造住宅を「旧家」と定義しています。「旧家」ならではの魅力を残しながら、伝統的な技術と現代のテクノロジーを融合させ、現代の暮らしにあった快適な住まいへのリフォームを行っています。築300年を超える旧家のリフォームを始め多くの実績を重ねる中で、オリジナル技術の開発や様々なノウハウを蓄積しています。

そして、先祖代々大切に住み継がれてきた旧家を次世代へ引継ぐ取り組みとして、維持管理のサポート体制を強化しています。



■評価された主なポイント

1)旧家リフォームにおける技術面での独自性

- ・旧家専用の「オリジナル耐震・制震技術」の開発
- ・「旧家補強パターン選択チャート」によって最適な改修方法を導く「旧家再生・耐震改修システム」の開発
- ・旧家の歴史から施工方法までをまとめた社内向け「旧家ガイド」の作成による知見の共有化

2)旧家の維持管理のサポートに関する主な取り組み

- ・旧家に関する建築技術の継承や旧家の魅力・価値の訴求を目的とした“旧家再生研究所”の設立
- ・旧家を永年にわたって後世に残し繋ぐためのサポート体制として「百年のいえ倶楽部」を設立
- ・「百年のいえ倶楽部」会員向け三井住友信託銀行との相互サービスの提供

■取り組み事例

1)旧家補強パターン選択チャート

- ・旧家の建物状況や法的規制などの条件を確認し、フローチャート(旧家補強パターン選択チャート)によって最適な改修方法を導きだす取り組み手法。

